

アンケート調査の基本方針

- 小松天満宮の**連絡橋（仮称）**、**河川管理橋**、**輪中堤**の各施設および**全体の景観**について、望ましいデザイン、色彩について住民意見を反映させるためアンケート調査を実施。
- 整備費用と維持管理費を提示し、景観に加え**コストのバランス**を加味したアンケートを実施。
- パソコンを使って景観イメージを確認できる**WEBアンケート調査システム**を活用。
- アンケートは、①**普段から小松天満宮になじみのある近隣住民**、②**小松市民**、を主な対象とし、補完的に③**周辺自治体在住のインターネットモニター**を対象とした。
（小松市・加賀市・白山市・能美市・川北町・野々市町・金沢市）
- インターネットによらない方法として、**公共施設における留置きアンケート調査**を実施。

WEBアンケートのメリット

- ・複数自治体にまたがる広範囲なアンケート調査が容易
- ・紙ベースでのアンケートでは困難な選択結果による組合せイメージを提示することができるため、被験者は組合せイメージを確認しながら何度でも選択を変更することができる
- ・被験者にとって、紙と異なりアンケートボリュームがさほど気にならない

WEBアンケートを利用した政策等決定の事例紹介

国土交通省の『[仮想的市場評価法（CVM）適用の指針](#)』（平成21年7月）において、調査方法ごとの長所、短所を示した上で、郵送調査法、面接調査法と併せてインターネット調査による方法が記されている。

① 利根川水系総合水系環境整備 霞ヶ浦浚渫（国土交通省関東地方整備局） 平成20年度

- 水質が改善することに対して、CVMによる負担金の支払意思額を把握
- 昭和50～54年頃の写真と将来（泳げる霞ヶ浦）を提示

【インターネットアンケートの対象】

- ・対象圏域：半径90km
- ・対象者：20歳以上のモニター
- ・回収サンプル数：3,265票

② 多摩川水系水環境整備事業（国土交通省関東地方整備局） 平成20年度

- 下水放流に対策を施し多摩川の生物生息環境を改善することに対して、CVMアンケート調査を実施
- 回答者の年代の偏りが極度にならないよう町丁目単位で割付

【インターネットアンケートの対象】

- ・対象圏域：多摩川沿線2km内4市
- ・対象者：10歳以上のモニター
- ・回収サンプル数：226票

③ 豊川流況総合改善事業（国土交通省中部地方整備局） 平成19年度

- 寒狭川堰及び寒狭川導水路を整備することにより流況改善と取水の安定化を図り、豊かで潤いのある河川環境をつくり出すことに対して、コンジョイントアンケート調査により支払意思額を把握
- 人口比率と比較してインターネットモニターの少ない市町村については郵送調査（67票回収）を併用

【インターネットアンケートの対象】

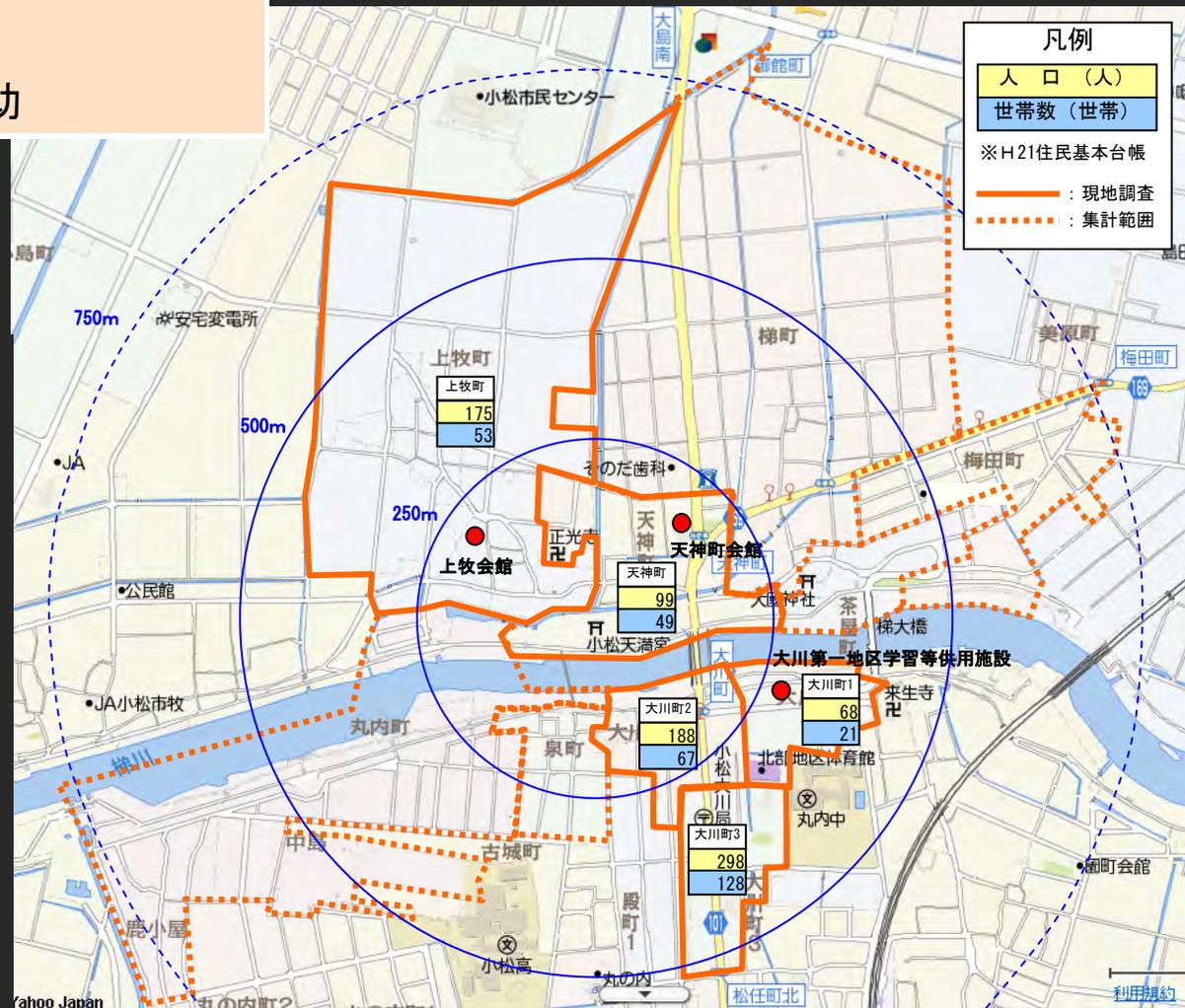
- ・対象圏域：流域と用水の受益者11市町村
- ・対象者：18歳以上のモニター
- ・回収サンプル数：366票

調査概要と回収結果

	調査概要	実施期間	回収結果
■WEBアンケート調査（インターネットを活用した調査） https://enq.r-research.jp/orca/komatsu			
モニターアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネットモニターを対象にアンケートを実施 ○小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町、野々市町、金沢市の以上5市2町を対象 	平成21年12月2日（水） ～12月8日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1,000票回収 （うち小松市民230票）
小松市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○「広報かけはしがわ」小松市内38,000部配布、「金沢河川国道事務所HP」により、小松市民を対象にアンケート実施を告知 	平成21年12月1日（火） ～12月20日（日） URLにアンケートをアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50票回収 （うち小松市民31票）
天満宮近隣住民アンケート （現地アンケート）	<ul style="list-style-type: none"> ○天満宮近隣の3箇所の公民館を活用し、対面方式により調査を実施 ○自治会を通じてチラシの配布、防災無線などによりアンケート実施の呼びかけ 	平成21年12月13日（日） 9：30～12：00 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上牧会館 ・ 天神町会館 ・ 大川第一地区学習等供用施設 	全体で41票回収 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上牧会館：26票 ・ 天神会館：10票 ・ 大川会館：5票
■インターネットを活用できない人のための調査			
小松市役所 留置きアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○市役所にアンケートコーナーのブースを設け、紙面によるアンケート票と回収箱を設置し、その場でアンケート調査を記入、投函してもらう形式 	平成21年12月14日（月） ～12月21日（月）午前中	全体で17票回収 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般市民：17票

天満宮近隣住民アンケートの実施状況

- ・ 上牧町、天神町、大川町の公民館を活用
- ・ 自治会を通じた広報を実施（チラシ配布、防災無線）
- ・ パソコン操作を担当者が補助



アンケート調査票の流れ

小松天満宮の紹介

河川改修の目的と計画の前提条件

認知度・来訪頻度について

輪中堤のデザインを選ぶ

小松天満宮連絡橋（仮称）
のデザインを選ぶ

河川管理橋のデザインを選ぶ

輪中堤について、あなたが望ましいと思うデザインを選んでください

案1 コンクリートブロックによる堤防
案2 コンクリートブロックによる堤防に植栽
案3 自然石風の堤防



全体イメージを変更したいときは、選択画面に戻り、選択し直すことができます

選択した組み合わせによる全体イメージが、様々な角度からご覧いただけます



施設ごとのイメージ
とコストを提示

選択案による全体
イメージとコストを提示

選択理由・個人属性について

小松天満宮連絡橋（仮称）

- ・ 案1：シンプルなアルミ合金の欄干
- ・ 案2：石川県の景観総合条例を意識したアースカラーの欄干
- ・ 案3：天満宮の歴史と調和した朱色で擬宝珠の欄干

案1（基準）	案2	案3
<p>シンプルなデザイン（アルミ合金）の欄干</p>	<p>アースカラーの欄干</p>	<p>朱色の擬宝珠（ぎぼし）の欄干</p>
		
<p>全体の費用：基準額 うち 整備費用：基準額 50年間の維持管理費用：基準額</p>	<p>全体の費用：基準額 + 約200万円 うち 整備費用：基準額 + 約200万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ</p>	<p>全体の費用：基準額 + 約600万円 うち 整備費用：基準額 + 約600万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ</p>

※ここで示す「維持管理費」とは、通常点検や定期点検などを示し、補修費・更新費などは見込みません。

河川管理橋

- ・ 案1：シンプルなアルミ色の欄干
- ・ 案2：石川県の景観総合条例を意識したアースカラーの欄干
- ・ 案3：天満宮の歴史と調和した朱色の欄干

案1（基準）	案2	案3
アルミ色の欄干	アースカラーの欄干	朱色の欄干
		
<p>全体の費用：基準額 うち 整備費用：基準額 50年間の維持管理費用：基準額</p>	<p>全体の費用：基準額 + 50万円 うち 整備費用：基準額 + 50万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ</p>	<p>全体の費用：基準額 + 100万円 うち 整備費用：基準額 + 100万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ</p>
<p>※ここで示す「維持管理費」とは、通常点検や定期点検などを示し、補修費・更新費などは見込みません。</p>		

輪中堤

- ・ 案1：コンクリートブロックによる堤防
- ・ 案2：コンクリートブロックに植栽をした堤防
- ・ 案3：石垣をイメージした自然石風の堤防

案1（基準）	案2	案3
<p>コンクリートブロックによる堤防</p>	<p>コンクリートブロックによる堤防に植栽</p>	<p>自然石風の堤防</p>
 <p>全体の費用：基準額 うち 整備費用：基準額 50年間の維持管理費用：基準額</p>	 <p>全体の費用：基準額 + 約9,000万円 うち 整備費用：基準額 + 約1,500万円 50年間の維持管理費用：基準額 + 約7,500万円 （年間維持管理費用：基準額 + 約150万円）</p>	 <p>全体の費用：基準額 + 約2,000万円 うち 整備費用：基準額 + 約2,000万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ</p>

※ここで示す「維持管理費」とは、通常点検や定期点検などを示し、補修費・更新費などは見込みません。

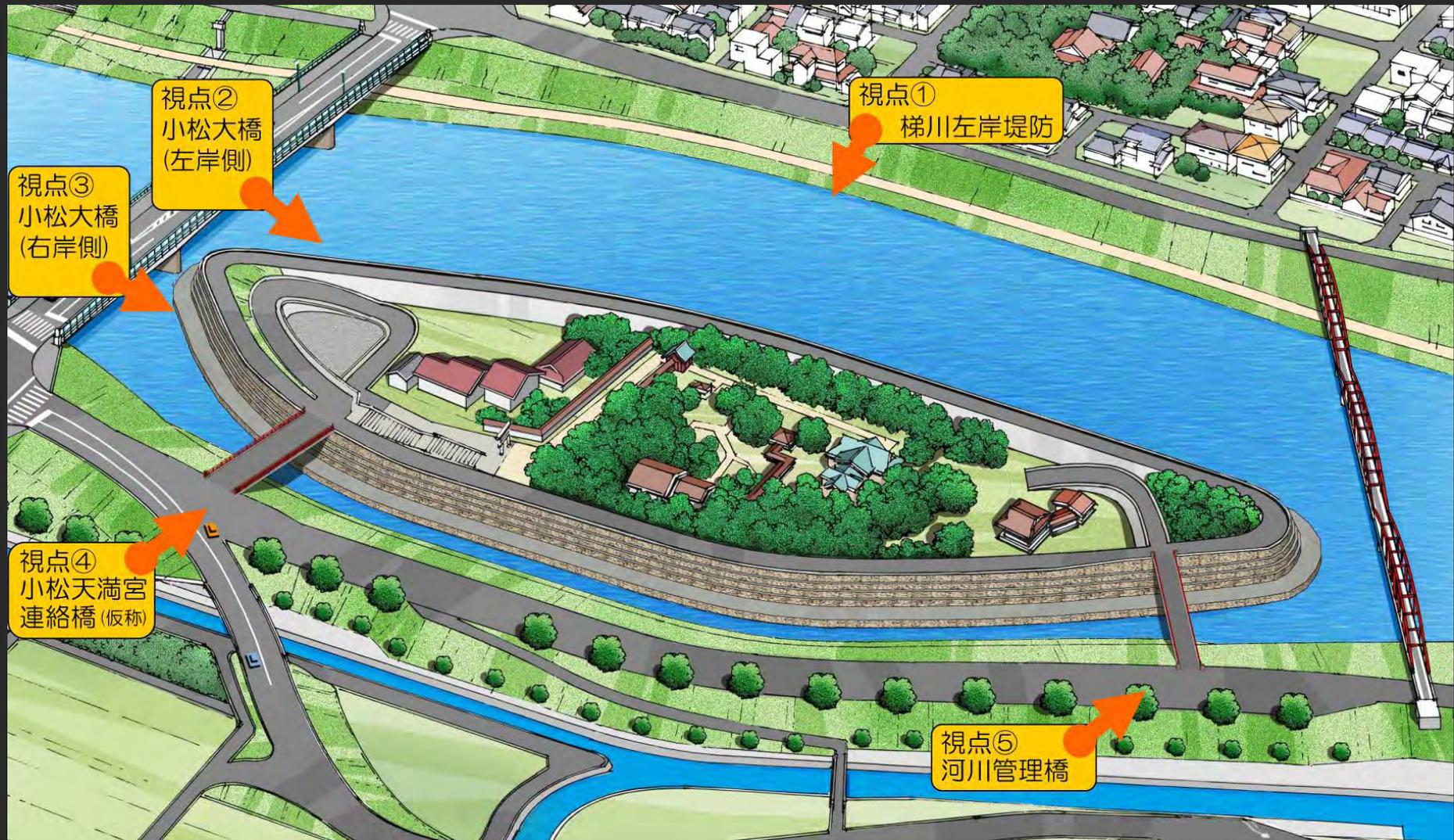
選択された組合せによる小松天満宮の全体イメージ

景観検討

全体の鳥瞰図（上空からの眺め）の組合せの1例

全体の費用：基準額+2,700万円

〔27通りの案のうち、費用が高い方から「10番目」です〕



選択された組合せによる小松天満宮の全体イメージ

景観検討

視点①～⑤の組合せの1例

視点④：小松天満宮連絡橋（仮称）からの眺め



視点②：小松大橋（左岸側）からの眺め



視点③：小松大橋（右岸側）からの眺め



視点⑤：河川管理橋からの眺め



視点①：梯川左岸堤防からの眺め



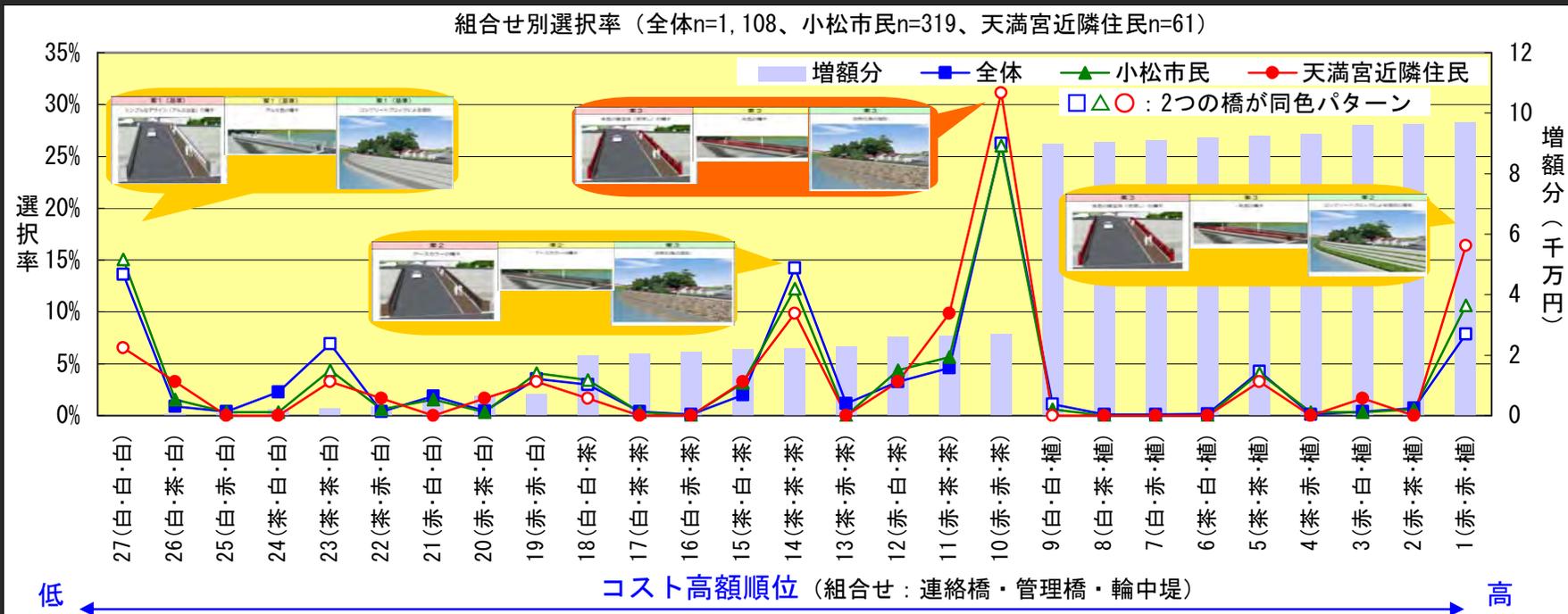
回収結果

- 調査全体で1,108票を回収
- 小松市民は319票
- そのうち天満宮近隣住民は61票（現地調査において40票）を回収

住所	WEBオープン			WEB モニター	留置き	計	
	計	現地アンケート	市民アンケート				
天満宮 近隣住民	上牧町	27	26	1	0	0	27
	天神町	11	7	4	0	0	11
	大川町	5	5	0	1	2	8
	梯町	1	0	1	2	1	4
	梅田町	0	0	0	0	0	0
	茶屋町	0	0	0	0	0	0
	丸内町	3	2	1	7	1	11
	泉町	0	0	0	0	0	0
	計	47	40	7	10	4	61
その他小松市	25	1	24	220	13	258	
小松市計	72	41	31	230	17	319	
周辺自治体	加賀市	1	0	1	84	0	85
	白山市	1	0	1	104	0	105
	能美市	2	0	2	51	0	53
	川北町	0	0	0	9	0	9
	野々市町	0	0	0	49	0	49
	金沢市	6	0	6	473	0	479
	計	10	0	10	770	0	780
その他地域	9	0	9	0	0	9	
広域地域計	19	0	19	770	0	789	
合計	91	41	50	1,000	17	1,108	

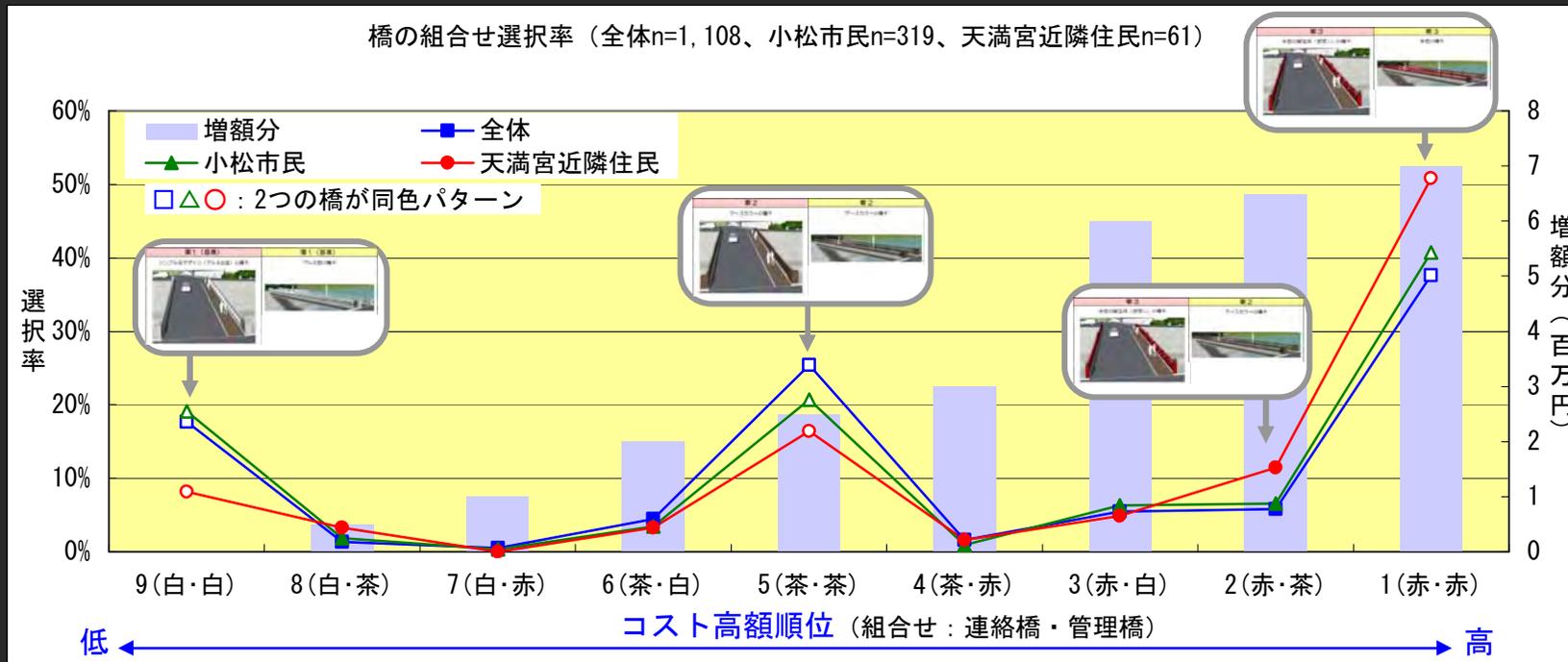
3つの組合せによる選考結果（地域別分析）

- 全体及び小松市民ともほぼ同傾向を示しており、最も好まれたイメージは【小松天満宮連絡橋（仮称）：朱色・擬宝珠】【河川管理橋：朱色】【輪中堤：自然石風】の組合せであった。
- コストに関しては、高い方から10番目の組合せであった。
- 全体において2番目に高いイメージは、順にアースカラー、アースカラー、自然石風で、コストは高い方から14番目の組合せであった。これは小松市民の場合、3番目に好まれた組合せである。
- 2つの橋に関しては、同色を選択する傾向がみられた。（次頁参照）



橋の組合せによる選考結果（地域別分析）

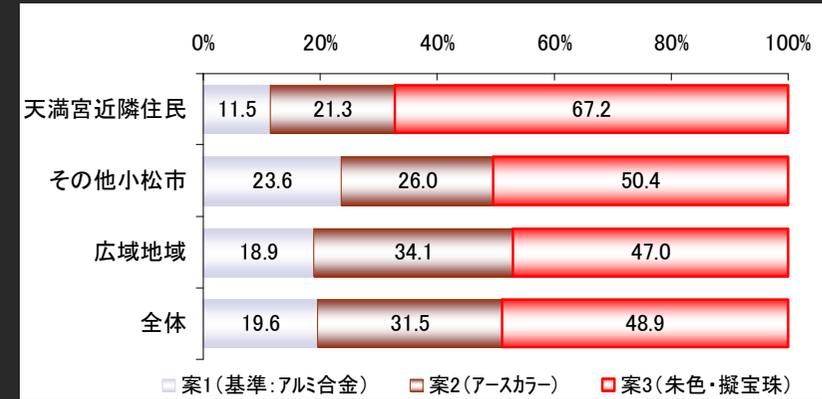
- 全体及び小松市民の双方において、〔小松天満宮連絡橋（仮称）：朱色・擬宝珠〕〔河川管理橋：朱色〕の組合せが最も多い結果となった。
- コストに関しては、最も高額の組合せである。
- 天満宮近隣住民の場合、その他の住民に比べて朱色による組合せを選択する傾向が強くなっている。
- 2つの橋に関しては、同色を選択する傾向がみられた。



個別施設の選考結果（地域別分析）

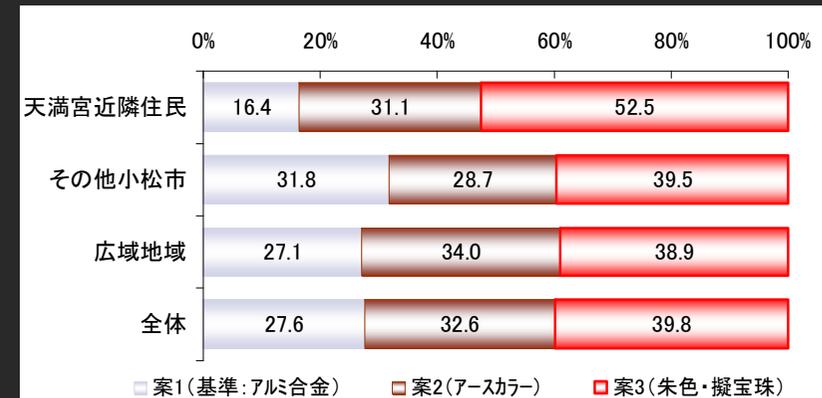
小松天満宮連絡橋（仮称）

案1（基準）	案2	案3
シンプルなデザイン（アルミ合金）の橋干	アースカラーの橋干	朱色の擬宝珠（ぎぼし）の橋干
		
全体の費用：基準額 うち 整備費用：基準額 50年間の維持管理費用：基準額	全体の費用：基準額 + 約200万円 うち 整備費用：基準額 + 約200万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ	全体の費用：基準額 + 約600万円 うち 整備費用：基準額 + 約600万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ



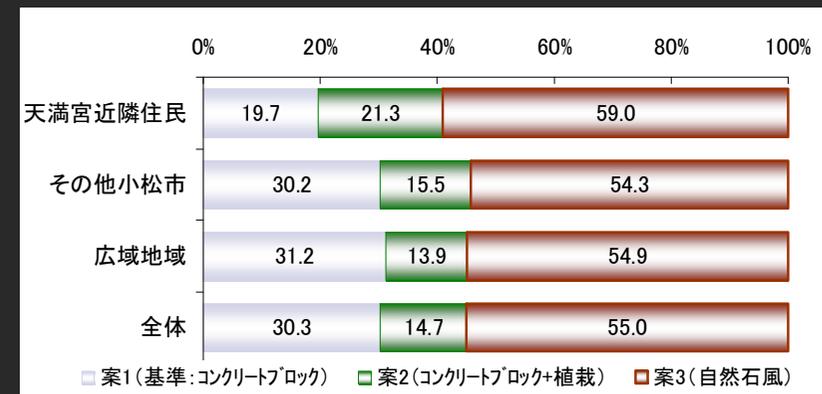
河川管理橋

案1（基準）	案2	案3
アルミ色の橋干	アースカラーの橋干	朱色の橋干
		
全体の費用：基準額 うち 整備費用：基準額 50年間の維持管理費用：基準額	全体の費用：基準額 + 50万円 うち 整備費用：基準額 + 50万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ	全体の費用：基準額 + 100万円 うち 整備費用：基準額 + 100万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ



輪中堤

案1（基準）	案2	案3
コンクリートブロックによる堤防	コンクリートブロックによる堤防に植栽	自然石風の堤防
		
全体の費用：基準額 うち 整備費用：基準額 50年間の維持管理費用：基準額	全体の費用：基準額 + 約9,000万円 うち 整備費用：基準額 + 約1,500万円 50年間の維持管理費用：基準額 + 約7,500万円 (年間維持管理費用:基準額 + 約150万円)	全体の費用：基準額 + 約2,000万円 うち 整備費用：基準額 + 約2,000万円 50年間の維持管理費用：基準額と同じ



選択の理由（地域別分析）

○天満宮近隣住民以外の地域において、国重要文化財である小松天満宮との景観の調和を重視した割合が約70%であるのに対し、天満宮近隣住民では約85%を占めており、景観重視の傾向が強い結果となった。



小松天満宮を身近に感じる住民ほど、景観重視になる傾向が見られる。

	天満宮近隣住民	その他小松市	広域地域	全体
全体	61	258	789	1,108
景観を重視した	31	77	226	334
どちらかといえば景観を重視した	21	102	328	451
どちらかといえばコストを重視した	6	48	157	211
コストを重視した	3	31	78	112



分析結果とりまとめ

- 組合せについて最も好まれたイメージは、小松天満宮連絡橋（仮称）が朱色・擬宝珠、河川管理橋が朱色、輪中堤が自然石風であった。
- 2つの橋に関しては、同色を選択する傾向にある。
- 全体においてはコスト重視が約30%であるのに対し、天満宮近隣住民では約15%と低くなる結果となり、近隣住民の方が景観重視の傾向にある。

住民の総意

小松天満宮連絡橋（仮称）：朱色・擬宝珠、
河川管理橋：朱色、輪中堤：自然石風

